

高校改革 ～夢に挑戦する学び～

長野県教育委員会

I これからの子どもたちが生きていく時代・社会

グローバル化の加速

少子化・超長寿命化

AI・ロボットの発達

高度情報化社会
超スマート社会

変化の激しい時代

正解のない時代

知識を蓄えることも大事だが、それだけでは不十分。課題を発見する力や、自ら考え、判断し、行動する力、他者と協働して納得解に辿り着く力など、「新たな社会を創造する力」が必要不可欠

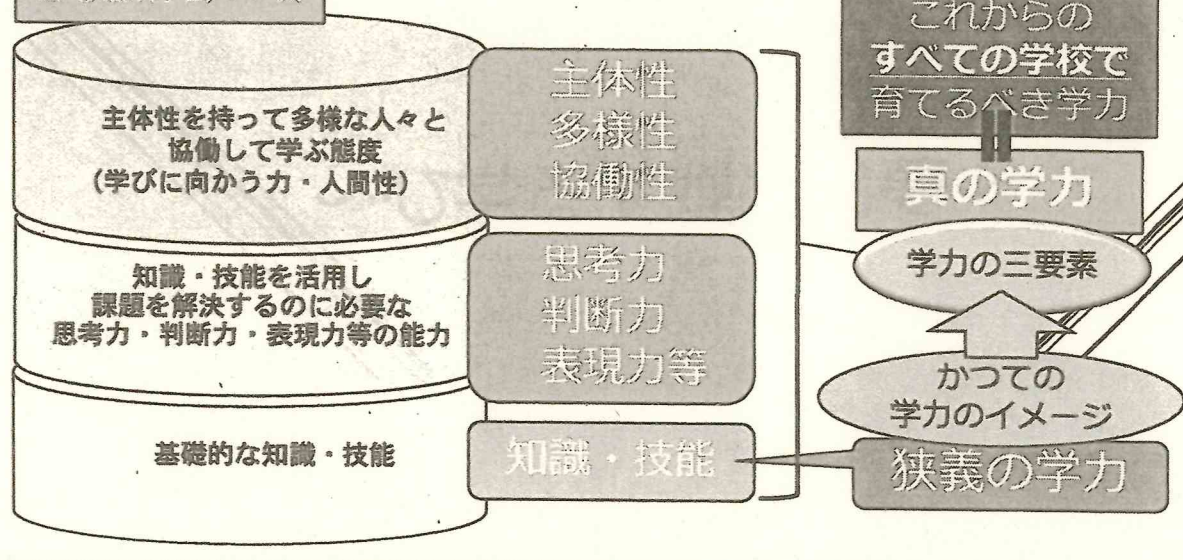
学校教育が行うべきこと

「育てたい力」の明確化と育成
(新しい時代の「学力観」に基づく)

そのための、新しい「学び」と
多様な「学びの場」と
多様な「学びの仕組み」の創造

Ⅱ これからを生きる子どもたちに育てたい力 (1)

国（文部科学省）ベース



Ⅱ これからを生きる子どもたちに育てたい力 (2)

県教委（「高校改革～夢に挑戦する学び 実施方針」）ベース

- ・自ら立てた問いに対し、チームとして協働しながら解を見つけ、新しい価値を主体的に創造していく資質・能力
- ・「一度しかない人生を自分はどう生きたいか」という自分の人生を構想する力（キャリアデザイン力）
- ・信州に根ざした確かなアイデンティティと世界に通じる広い視野、資質・能力

Ⅲ 「育てたい力」を育てるための県教委の方策

1 県教委『高校改革～夢に挑戦する学び～実施方針』から ＜「新たな学び」と「新たな学校づくり」を一体的推進＞

6本の柱

○新たな学びへの転換

- ・探究的な学びの推進
- ・学校ごとに3つの方針の策定と運用
(生徒育成方針、教育課程編成・実施方針、
生徒募集方針)
- ・高校入試制度改革 など

○新たな学びにふさわしい環境の整備

- ・学習環境・生活環境の整備
(空調設備、洋式トイレなど)
→さらに「学習空間デザイン検討委員会」
- ・ICT環境の整備充実
(電子黒板、タブレット等の導入推進) など

○多様な学びの場、学びの仕組みの整備充実

- ・新しいタイプの学校の充実拡大
- ・多部制単位制の充実拡大・通信制の改革
- ・モデル校(研究校・実践校)指定・実践研究
- ・ICT(EdTech)積極的活用
- ・高校間連携・高大連携推進 など

○少子化の進行への的確な対応

○多様な学びの場を全県に適切に配置

○地域の検討を受け再編整備計画策定

Ⅲ 「育てたい力」を育てるための県教委の方策

2 新しい「学び」の創造

(1) 全高校・全授業で

「探究的な学び」を導入

「主体的・対話的で深い学び」

○課題探究活動の導入

課題設定 ➡ 調査・研究 ➡ 解決策の提示

○一方的講義 ➡ 主体的参加(動的・静的)、学び(教え)合い

○HR活動、生徒会活動、部活動等全ての活動を探究的に



Ⅲ 「育てたい力」を育てるための県教委の方策

2 新しい「学び」の創造

(1) 「探究的な学び」の導入

「主体的・対話的で深い学び」



○課題探究活動の導入

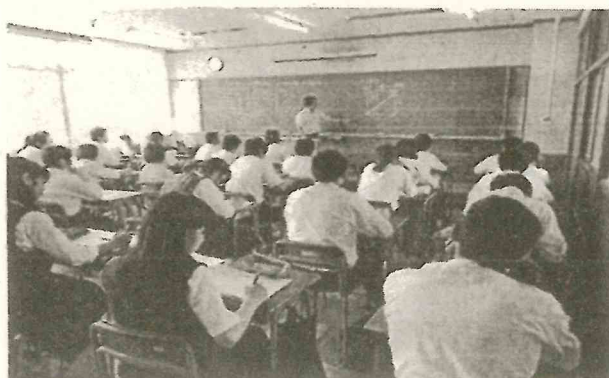
テーマ・問いの設定 ➡ 調査・研究 ➡ 解決策・成果物の提示

○授業：一方的講義 ➡ 自立的・主体的学び＋協同的学び

○特別活動：HR、生徒会、部活動等全ての活動を探究的に

6

これまでの授業

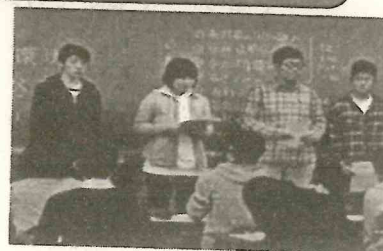
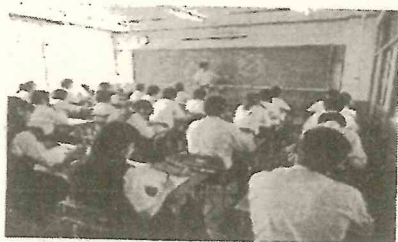


講義型の授業

知識・技能を
間違えずに習得、
必要に応じて活用

これからの授業

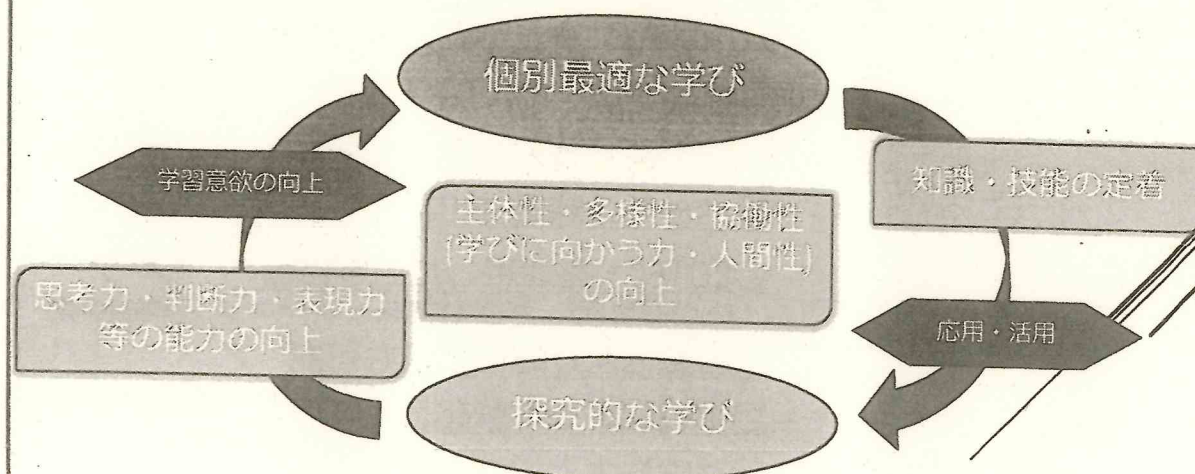
主体的・対話的で
深い学び



知識・技能を活用し、
正解のない課題に向き合い、解決していく

Ⅲ 「育てたい力」を育てるための県教委の方策

2 新しい「学び」の創造 まとめ



Ⅲ 「育てたい力」を育てるための県教委の方策

3 多様な「学びの場」の創造

(1) 「様々なタイプの学校」を設置 1

これまで

普通科 専門学科（農工商家）
 特色学科（理数・英語・国際）
 総合学科 総合技術高校
 定時制／多部制単位制
 通信制 特別支援学校分教室
 スポーツ科 音楽科 探究科 国際観光科

これから

- 普通科含めすべての高校の特色化・魅力化
- 総合学科・総合技術高校の充実拡大
- 多部制単位制高校の充実拡大
- 通信制の改革

Ⅲ 「育てたい力」を育てるための県教委の方策

3 多様な「学びの場」の創造

(1) 「様々なタイプの学校」を設置 2

○（例）通信制の改革の具体像

これまで

これから

自学自習を基本 週1回程度の通学
 紙ベースの課題提出により評価

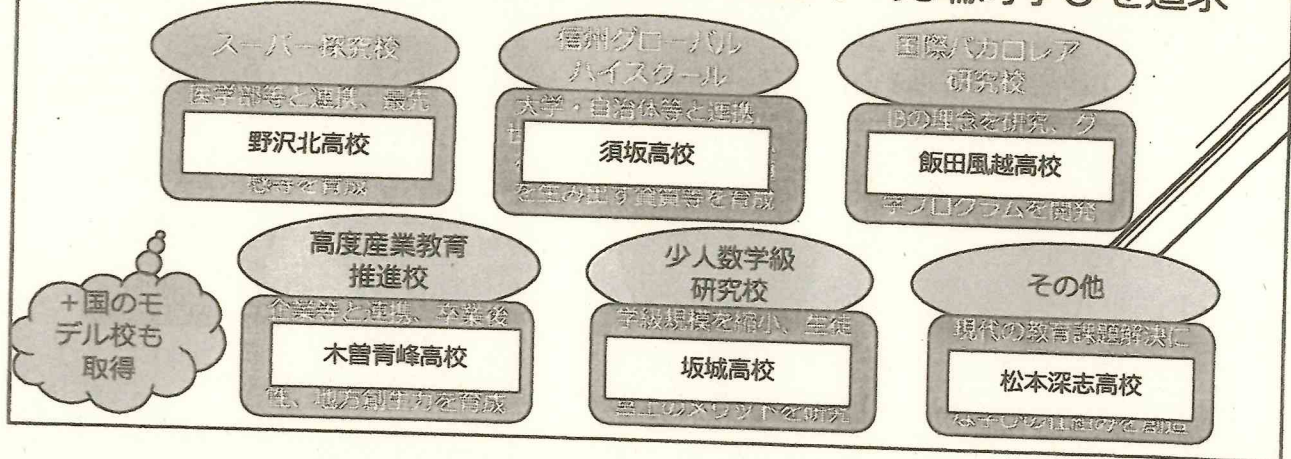
- EDTECHを活用した自学自習
 （ネット講義視聴、学習履歴表示、マイペース、遠隔通信等）
- 希望により毎日登校も可能
- 単位認定を柔軟化、短期間の卒業も可能
- 社会や人とのつながりも重視

Ⅲ 「育てたい力」を育てるための県教委の方策

3 多様な「学びの場」の創造

先の、さらに
その先へ

(2) 「研究校の指定」により先進的・先端的学びを追求

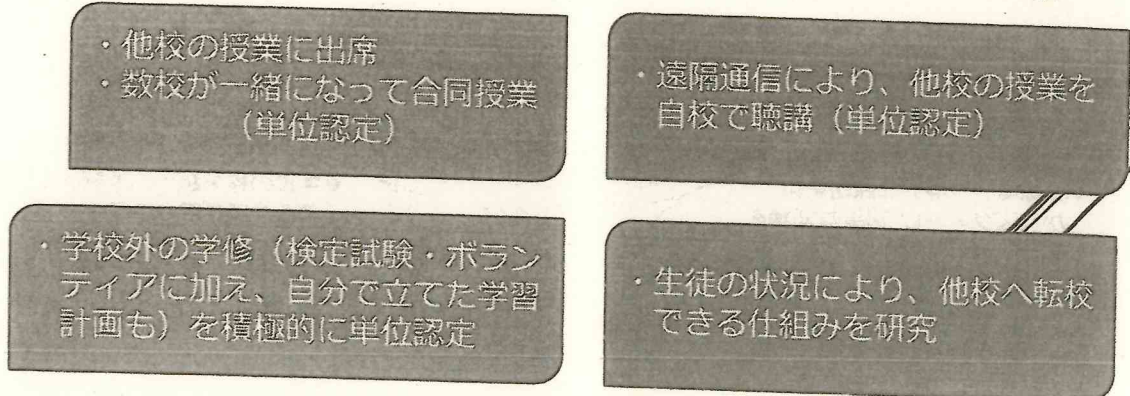


Ⅲ 「育てたい力」を育てるための県教委の施策

4 多様な「学びの仕組み」の創造

旧来の「学校」の枠に
囚われない

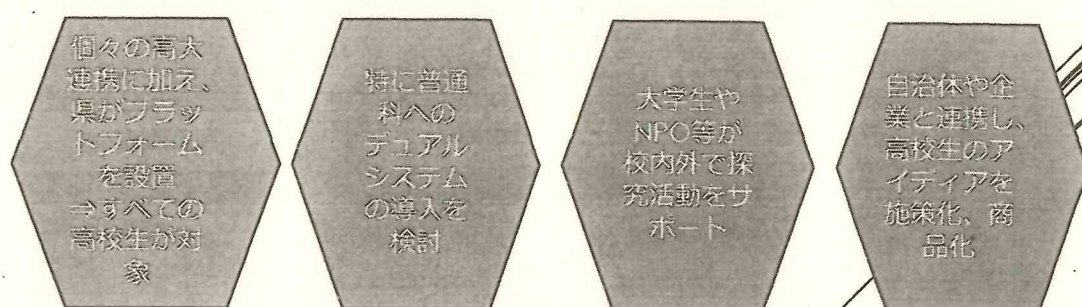
(1) 高校間連携等



Ⅲ 「育てたい力」を育てるための県教委の施策

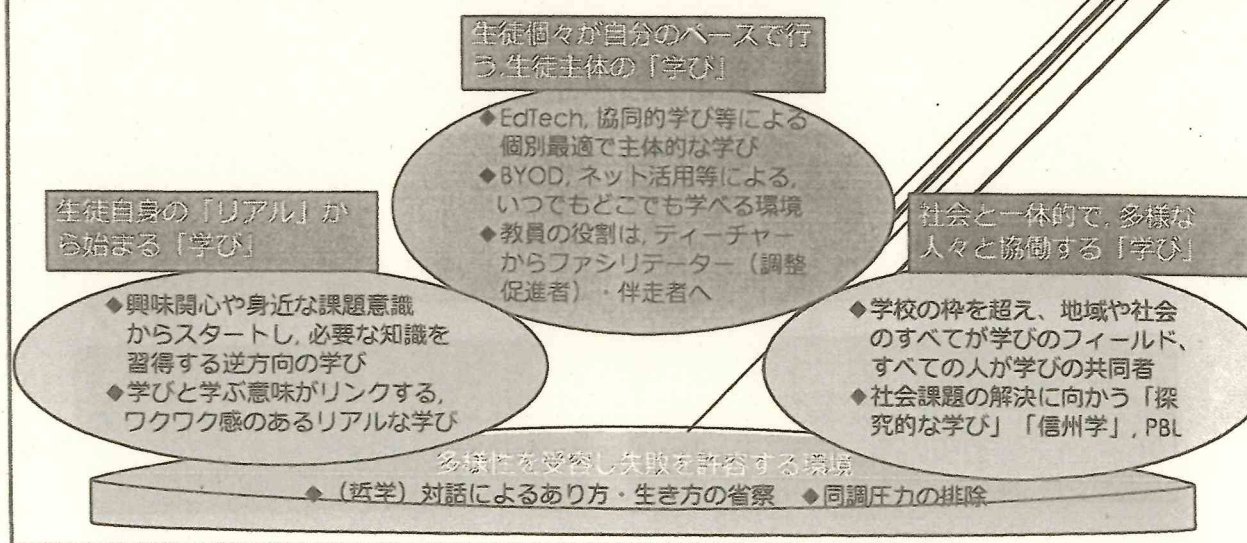
4 多様な「学びの仕組み」の創造

(2) 大学や企業・地域との連携



Ⅳ むすびに ～これからの学校・これからの学び

「生徒一人ひとり（の学び）を本当に大切にする」の徹底追究



大人の一番の役割

次代に生き、次代を担う子どもたちが、これからの時代を生きる力、新しい社会を創っていく力を身に付けられるような環境を整備すること

今回の高校改革の目的